

教科シラバス(2年理科)

教科名	理科	科目名	物理基礎	学年	2年(一般・習熟)	単位数	2
教科書と副教材			新編物理基礎、フォローアップドリル物理基礎、センサー総合物理(理系)				
1. 科目目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物について:教科書、問題集、ノート</p> <p>(2) 予習の仕方について ア 前もって、次回授業の教科書を読み、中学で既習している学習内容を思い返しましょう。</p> <p>(3) 授業の受け方について ア 授業は集中し、先生の演示実験や説明をよく見聞きし、関心を持って参加するように心掛けましょう。 イ 観察実験では、先生の指示に従って安全に注意し、目的意識を持って行い、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解できるように心掛けましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の仕方について ア 授業で習った箇所の教科書を読み返しましょう。その際、法則や重要事項等は、もう一度ノートに書き写して確認しましょう。 イ 宿題(問題集)は、出された当日に必ず自分の力で解いて答え合わせをしておくようにしましょう。</p> <p>(5) 質問の仕方について 分からないことは早めに担当の先生に尋ねてください。授業時間内の質問でも、放課後等に質問に行ってもいいです。</p>						
3. 学習評価	学習評価は、定期考査・課題考査、提出された課題、学習態度等より行います。特に、課題の提出については、学習評価の必須条件です。従って期限内未提出の場合は、当該科目が未認定になることもあります。						
4. 学習サポート	<p>(1) 物理で学習する内容のほとんどは日常生活や社会に関係する事柄です。授業の内容を身の周りの現象に結びつけて興味を持って取り組むことが最も大切です。</p> <p>(2) 授業ノートには、黒板に書かれたことだけではなく、先生が説明された事柄や実験を通して分かったことも書き込むとより理解が深まります。</p> <p>(3) 毎日の授業後、家庭でノートを見直し、問題集の基本問題を解いておくとういでしょう。</p>						